

# 授業改善シート〔国語〕

校番(23) 福山市立城西中学校

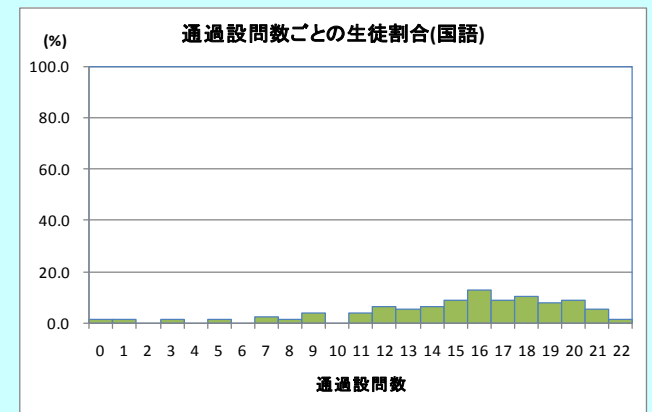
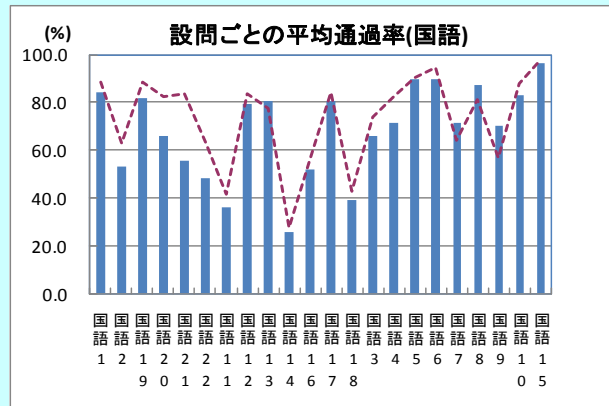
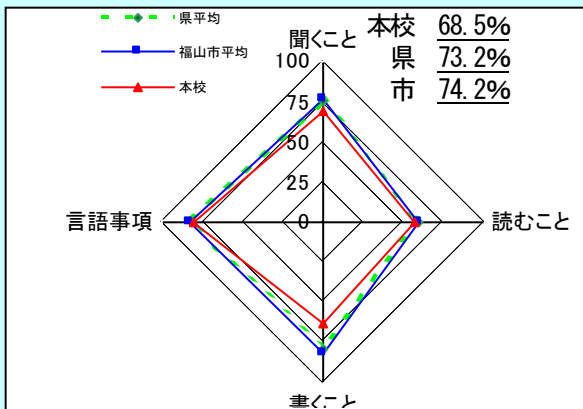
## 昨年度課題

- ①「書くこと」では、文章の構成を考えて書く力や、意見の根拠となる理由を書く力に課題がある。
- ②「読むこと」では、登場人物の心情を読み取る力に課題がある。
- ③段落相互の関係理解や文章の全体的な構成の理解に課題がある。

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①根拠に基づいて意見を発表させた。文学作品では、誰が・いつ・どうしたということを正確にとらえさせ、あらすじをまとめさせる等、書いて全体の構成や展開の理解をさせる工夫をした。
  - ②人物の心情が情景や表情・動作などに現れていることを確認させたり、自分の言葉で表現させた。
  - ③説明文では、接続語の役割を確認しながら、段落相互の関係を考えさせ、構成図を書かせた。
- 《本年度の目標値 文学作品の読みとりの無答率を5%未満にする。》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎「書くこと」では、自分の考えを効果的に伝えるために、適切な理由を明確にして書くことに課題がある。  
(通過率 48.1%)
- ◎「読むこと」では、文章の展開に即して登場人物の心情を的確にとらえることに課題がある。  
(2つの設問に対し、通過率 80.5% と 26.0%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

- 【国語科】
- ①自分の考えを発表したり、書いたりする際に、自分の考えを支える根拠となるキーワードや段落や部分などを挙げさせ、それを中心に自分の考えをまとめる。授業の中で百字作文や二百字作文など、書く作業を多く取り入れる。
  - ②文学作品の展開や内容は、場面や登場人物の設定と深い関わりがある。これらの要素を丁寧にとらえさせる。登場人物の言動の意味なども考えさせ、吹き出しを用いたワークシートなどを活用し、自分の言葉で表現する活動を多く取り入れる。
- 【全校・他教科等】全教科の中で、理由を書かせる発問や自分の気持ちや考えを書く場面を多く仕組み、自分が書いたものをクラスの中で表現する力をつける指導を繰り返していく。

## 取組みの検証

- 時期 2月
- 目標値 通過率を5%向上
- 方法 福山市学力問題調査

## 来年度の目標値

- 自分の考えを効果的に伝えるために、適切な理由を明確にして書く設問の通過率を5%向上させる。
- 記述の問題の無答率を5%未満にする。



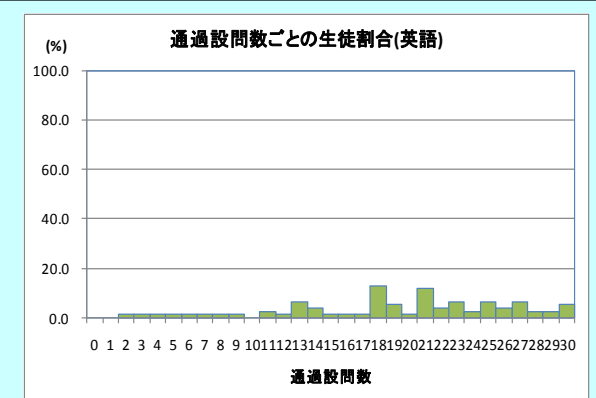
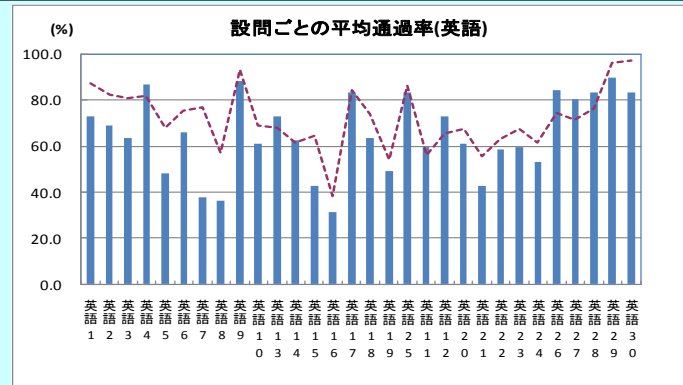
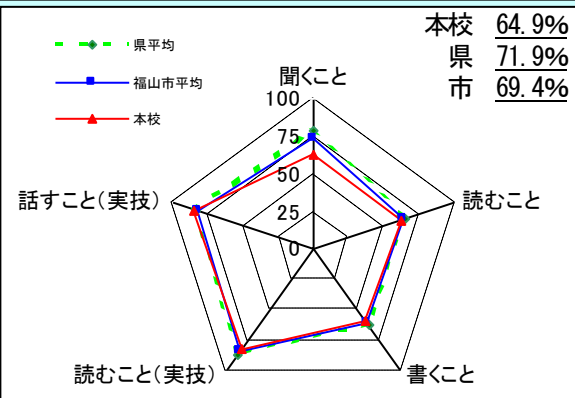
## 昨年度課題

- ①「読むこと」では中心となる事柄の把握・会話の流れの理解に課題がある。
- ②「書くこと」では会話の場面に応じて適切に英文を書くことに課題がある

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①教科書本文の音読を繰り返し行う。オーラルイントロダクションの際、絵などを使ってQ&Aがすらすらできるようにする。
- ②英作文をさせるときは英語の語順・時制・主語の単数・複数に注目して作文させる。  
《本年度の目標値 記述問題の無答率を5%未満にする。》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎「聞くこと」では概要や要点の把握を理解することに課題がある。(英語7 37.7% 英語8 36.4%)
- ◎「書くこと」では自分の考えや気持ちが読み手に正しく伝わるように書くことに課題がある。(42.9%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

- 【英語科】
  - ①教科書本文のCDを使う時は、その文の要点や5W1Hが把握できるように仕組んでいく。また、リスニング問題でも英文を繰り返し聞かせ、内容が理解できるようにさせる。
  - ②既習の単語、連語を使って英語の語順に気をつけた英作文指導を行う。また、自分でつくった英文を発表したり、ペアワークをする場面をより多く仕組んでいく。
- 【全校・他教科等】
  - ①ペア活動や発表の時、5W1Hが把握できるように仕組んでいく
  - ②授業の内容を反映した復習課題を毎時間準備し、自主ノートや家庭学習の定着を図る。

## 取組みの検証

- 時期 2月 ○目標値 通過率を5%アップさせる
- 方法 福山市学力問題調査

## 来年度の目標値

- 「書くこと」の全ての問題で無答率を一桁にする。